SOUDANYA 通信

2026 年
9 月号

～気軽に読めて役に立つマネー情報をお届けします！～

特集　後悔しない高齢者サポートサービス選び、4つのポイント！

単身高齢者や頼れる親族がいない方の増加に伴い、入院・施設入所時の「身元保証」、亡くなった後の「死後事務（葬儀・部屋の退去など）」、日々の「生活支援」などを有償で代行する高齢者サポートサービスの利用が広まっています。頼もしい仕組みである一方、料金体系のわかりづらさや契約トラブルも増えているため、事前確認が欠かせません。

利用時に押さえておきたい重要ポイントは次の4点です。

1. **要望の整理**：身元保証・死後事務・生活支援のうち、自分に必要なサービスを明確にする。
2. **支払い能力の見極め**：月額費に加え、都度発生する追加費用や利用想定期間（平均余命など）を考慮して総額を計算し、自身の年金や貯蓄で支払えるか判断する。
3. **具体的なサービス内容の確認**：事業者が対応できること・できないことを事前に確認し、納得した上で書面に残す。
4. **リスクへの備え**：認知機能の低下や緊急時に備え、契約内容の連絡先メモを冷蔵庫などの目立つ場所に掲示・保管しておく。



困ったときにはひとりで抱え込まず、生活全般なら「地域包括支援センター」、契約に関することなら「消費生活センター」など、地域の公的機関に相談するとよいでしょう。

？ マネークイズのコーナー

生命保険の「契約者貸付制度」に関する説明として、最も適切なものはどれか？

1. 支払った保険料の総額まで貸付を受けられる
2. 保険契約を解約・失効させなければ返済義務は生じない
3. 解約返戻金の一定範囲内で貸付を受けられる

（答えは裏面にあります！）

今月のお知らせ

お月見の際、月の見え方を「兎の餅つき」と例えますが、これは日本だけ。

国によって月の見え方が異なるため、アメリカ→ワニやロバ、インドネシア→編み物をする女性、北欧→読書するお婆さん、中東→吠えるライオン、南ヨーロッパ→カニ等、国によって様々な表現があります。



コラム　海外赴任・留学でNISAやiDeCoはどうなる？

海外赴任や留学で出国する際、日本の金融機関では「居住者／非居住者（主に1年以上滞在）」の区分や渡航理由により対応が異なります。対応や制限は金融機関で異なるため、必ず利用中の口座へ個別の確認が必要です。

・**特定口座**：金融機関が税計算を行ってくれる「特定口座」は、1年以上の海外滞在で非居住者となる場合は利用できず、自分で確定申告が必要な「一般口座」へ移管されるのが一般的です。金融機関によっては解約を求められる場合もあります。

・**NISA**：会社命令の転勤等（最長5年以内）であれば届出により非課税で維持可能（新規買付は不可）ですが、自主的な留学等は維持特例の対象外となり一般口座へ移管されます。

・**iDeCo**：厚生年金や国民年金への任意加入を継続する場合は、拠出の継続が可能です。

なお、1年未満の短期滞在でも、海外からのアクセスや取引が制限されることがあります。また、1億円以上の有価証券等を保有して出国する場合は「国外転出時課税（含み益への課税）」の対象となり、諸手続きに3ヶ月程度かかることもあります。渡航が決まったら、対象資産や手続きに応じて、できるだけ早く準備や相談を進めるようにしましょう。



A　マネークイズの答え

答えは



3.解約返戻金の一定範囲内で貸付を受けられる

契約者貸付制度は、契約している保険の解約返戻金の一定範囲内（一般に80～90%程度）で資金の貸付を受けられる制度です。

編集後記

横浜四季のバスツアー主催の地産地消ツアーへ参加。まずは、幻の浜ブランドの「浜なし」と「浜ぶどう」の収穫体験。
こちらの農園は自宅から車で約20分の場所にあり、近過ぎてビックリ！
昼食は藤沢市の農家レストラン。移動してマルシェやJAの直売所で買い物して全行程終了。地元再発見の日になりました。



発行
株式会社ＳＯＵＤＡＮＹＡ
神奈川県鎌倉市大船1693番地
お問い合わせは090-9979-0462まで！
E-mail　：　k.soudanya@gamil.com

